



# 潮寿荘 だより 倉部

平成30年5月16日発行  
発行：特別養護老人ホーム  
潮 寿 荘  
記事：5月担当潮寿荘職員  
編集：潮寿荘だより編集委員

題字：倉部ヤナ子(88歳)

## 花見

5月1日、世間はゴールデンウィーク真っ最中。今年も函館公園にお花見に行ってきました。天気は快晴、桜も満開。絶好の花見日和になりました。函館公園は連休中という事もあり大にぎわい。去年はだいぶ散っていましたでしたが今年は去年より一週間早めの実施なので、満開も満開。桜吹雪も舞っています。到着して乾杯したら、早速、鉄板で焼いたジンギスカンや焼きそば、おにぎり、豚汁などでお昼ご飯です。キミエさんは2回お代わりした後も

過去最高の桜と天気で皆さん笑顔



(おいしい梅酒を飲む クリ子さんと娘さん)

「まだ食べる」と。セツさんももぐもぐ口を動かしながらお代わりしていました。クリ子さんは娘さん手作

りの梅酒をワイングラスでくいと飲んでいました。それぞれ昼食を食べ終わると散策タイム。さっそく眞佐子さんが「バイキングに乗りたい」とおっしゃり、眞佐子さんを担当した、アメリカ生まれのイケメンボランティアさんと施設長の三人で乗ることになりました。乗り物は意外に揺れが大きく大丈夫かな?と思いましたが、そこは流石に眞佐子さん。「ビュー、ビュー、イェーイ!」と言いながらすごく楽しんでおられました。その後動物を見たり、出店を廻ったりなど、皆様の沢山の笑い声が聞こえていました。ところが何か眞佐子さんの様子が変わります。大丈夫ですか?と聞くと「酔ったみたい」と。あんなに楽しんでいたのに。担当のイケメンボランティアさんも眞佐子

ジンギスカンをお腹いっぱい食べたあと、メイ焼きをほらばるセツさん



また会う約束もしている眞佐子さん

散策を楽しく皆さん



キミエさん、シズ子さん、セツさんとボランティアさん、記念さつえい

さんを心配しています。すると「あなたが近くに居てくれれば大丈夫」と眞佐子さん。何も心配することはありませんでした。愛の力ってすごいですね。  
ご家族の皆様と末日聖徒イエスキリスト教会のボランティアの皆様協力もあり、お花見は無事大成功で終えることが出来ました。入居者の皆様がおしゃれをし、化粧をしておめかししたりと、普段見られない一面を見ることができ、すごく思い出に残る花見になりました。自分自身三度目になる花見行事。「お祭り男」としてぜひ来年も参加したいと思います。桜のように入居者の皆様の笑顔も満開にしていきたいです。  
(顔も腕も、誰より真っ赤に日焼けしていた色白介護士・泉孝樹)





# 待望の



# 新人歓迎会

## 南催

去る4月23日、この春潮寿荘に新たに入職した職員の歓迎会が某焼き肉店、飲み食べ放題コース参加職員34人の下、行われました。

施設長の挨拶と乾杯の後はもうひたすら「焼く！食べる！飲む！」とまさに戦闘モード突入です。追加で頼んだビールがようやく到着したかと思うとすぐにまた追加と、潮寿荘職員の元氣と勢いを感じました。そうこうするうち、流石に皆さん出来上がってきて「落ち着いてきたかな」とって頃に、潮寿荘での名物、お笑いコンビ『Wイズミ』の登場で、いよいよ新人介護士の挨拶を頂きました。

金原さんは20歳、お笑いコンビ『Wイズミ』の登場で、いよいよ新人介護士の挨拶を頂きました。50過ぎを過ぎていき、私にとって娘のような存在で、一見大



↑ 記者・山田介護士 Wイズミにはおめでとう



## 6月の予定

- 4日(月) 野外食 ちゃん焼
- 6日(水) 誕生会
- 13日(水) 特別お茶会 ホットケーキ
- 18日(月) 野外食 流しソーメン
- 27日(水) 日帰リツアー

お楽しみに……

人しそつに見えてすごい頑張り屋さんです。トイレ介助を終えて「上手になったねえ」とその入居者さんに褒められている場面を目にした時、私もめっちゃ嬉しかったです。

よくぞ来てくれました！自分の新人時代の事などあれこれ思い出しているうちに、だんだん眠くなり、夢の中へ……途中から全く覚えておらず、いつの間にかお開きになっていました。寝ぼけてフラフラ歩く私は、両腕を抱えられ「あれ、身体拘束さ？」とか言いながら代行車に乗せられ帰ったようです。そんな同僚職員の心配をよそに、またまた家で飲んでたりして、「ゴメンね」。

そんな楽しい歓迎会でした。金原さん、解らないことがあればどんどん先輩職員に聞いて下さい。そして明るく楽しい職場になるように一緒に頑張ろうね  
(常に、ひたすらお酒の事を考えている高血圧介護士・山田)

### リフトを教わる 新人金原さん 真剣……集中



連休明けの北川相談員、娘達と沢山遊んだせいか「腰痛」で車から降りるのも大変なほど。痛いと言いつつ翌日はお花見。出発前から準備に大忙し。函館公園に到着しても、ボランティアさんに車イス操作の説明とか忙しく過ごし、花見終了。施設へ戻って働く姿を見ると、何か変。腰骨の位置が左右違っているというか、体が横に『く』の字に曲がっている。花見で持病の『ぢ』が悪化したのかと思いきやクスクスと笑いが……。けど、やっぱり『ぢ』の時の歩き方とは違うので「歩き方変」と思わず本人へ。鏡で己の姿を確かめる北川相談員。「あれ、本当だ、曲がってる」と本人も笑う。痛いしこんなに歪みがあるのだからキッチンと病院へ行った方がいいよ」と皆に勧められ、次



### 来月号を お楽しみに ♡



↑ 入居者さんたちとネコ

の日、いざ病院へ。結果、腰痛ベルトを（本人ベルト持っていたものの勧められしびしび）購入し痛み取れなかったらまた来てね、とシッブと痛み止めで終わり。「これで大丈夫なの？」と心配ではあったが、痛みも徐々に落ち着いてきた様子。数日後、泉慶佑介護士が「昨夜うつ伏せで伸びをしてたら息子が腰の上に飛び乗ってきた：腰やられた」と腰を曲げている。それは大変、受診してきなさい。と北川相談員、なぜか同病院を勧め泉介護士早退してその病院へ。そしてベルト購入と痛みあつたらまた来てね で終了した。この仕事をする上で、腰は特に大切。でも家族サービスで痛めてしまっただけはどうしようもなし。二人とも少しずつ良くなってきているようなので一安心。  
(スピード違反で捕まったKに笑顔を向けて通り過ぎた介護主任・小野)